

# 滋賀県の犯罪情勢と抑止目標

令和4年滋賀県  
刑法犯認知件数  
**6,830件**

前年と比べて1,016件増加し、犯罪率<sup>(注)</sup>については、全国平均の47.8を上回る48.3でした。

※注：犯罪率は、人口1万人あたりの刑法犯認知件数を表します。

令和4年滋賀県  
特殊詐欺被害件数  
**132件**

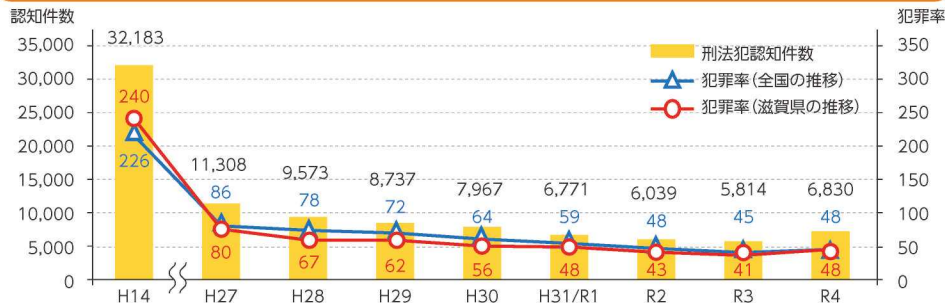
前年より28件増加し、被害金額については、約3億2,400万円の前年より、約1億8,300万円増加し、依然として高齢者の被害が大きな割合を占めています。



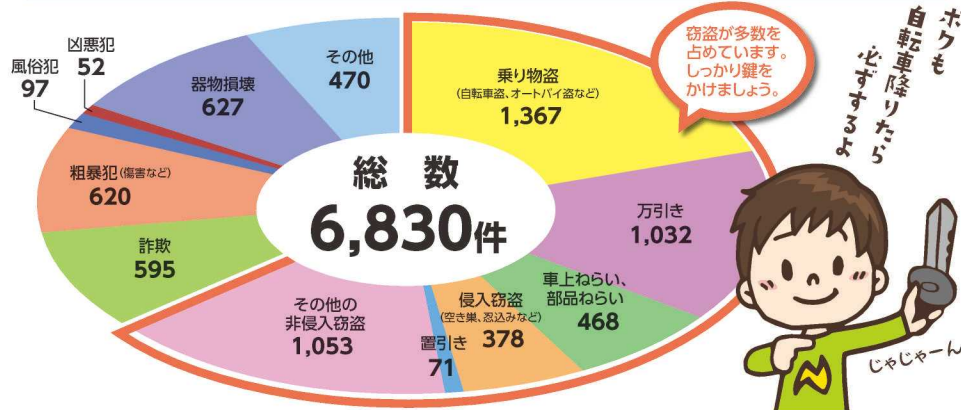
子どもや女性を狙った声かけ事案や性犯罪についても、引き続き高い発生傾向にあります。

令和5年は、「治安の良さを実感できる社会を目指して!」～県民の心と力をあわせて達成しよう! アンダー5,500件～、～みんなで防ごう! 特殊詐欺被害80件以下、住宅侵入窃盗被害140件以下～を犯罪抑止目標に掲げ、「特殊詐欺被害防止」「住宅に侵入する窃盗被害防止」「子ども・女性対象犯罪被害防止」の3項目を重点対策とし、県民総ぐるみによる安全・安心なまちづくりに取り組みます。

## 滋賀県の犯罪発生状況



## 滋賀県の刑法犯内訳(令和4年中)



グリーン購入法適合用紙使用

# 声 おいぼう!

をかける

積極的な挨拶を!

# 呼 見守ろう!

びかける

地域から安全安心!

みんなで一緒に地域を守る!

4つのかけるで

# なくそう犯罪

# 気 にかける

これは!

気づきで守る!

# 鍵 をかける

カチャッ!

少しの間でも!

犯罪ゆる3隊



滋賀県は絶対に犯罪を許しません!!

「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議 事務局

TEL.077-528-3414 <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kurashi/bouhankoutsu/>

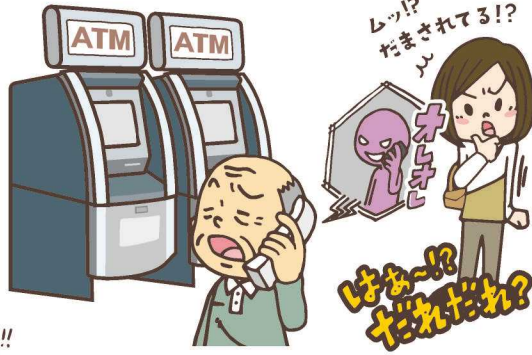
滋賀 なくそう犯罪 検索



滋賀県

## 特殊詐欺(振り込め詐欺) 被害防止対策

犯人は、警察官や銀行員をかたり、皆さんのところに「キャッシュカードが使用できなくなった」、「還付金がある」、「サイト料金が未納です。支払いがないと裁判になる」などの詐欺電話をかけて不安にさせ、キャッシュカードやお金をだましとろうとします!!



「銀行での振込み」だけでなく、「コンビニで電子マネーを買って番号を教えてほしい」、「コンビニの収入代行でお金を支払って欲しい」などと言ってだまし取る手口が発生しています。



自分は大丈夫という思い込みは捨てて、日頃から対策を取りましょう。



犯人は、いつどのようなタイミングで近づいてくるかわからないので、みんなで呼びかけあって、被害に遭わないようにしましょう。

見えない電話の相手(話)を簡単に信用せず、急ぐ時こそ、家族、知人、警察などに相談しましょう。



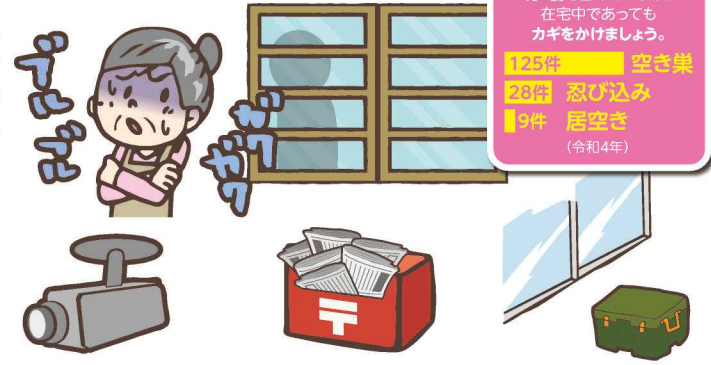
電話を常に留守番電話にしておきましょう。犯人は声を録音されるのを嫌がります。

**特殊詐欺は「他人事」ではありません。** みんなですべて呼びかけましょう

家族、地域で呼びかけ、みなさんで特殊詐欺被害をなくしましょう。

## 住宅に侵入する窃盗 被害防止対策

家の中に侵入される被害に遭うと、犯人と偶然出くわすなど、財産被害だけでなく、身体的な被害を受ける場合もあります。



在宅中の侵入窃盗が約2割を占めています。在宅中であってもカギをかけましょう。

125件 空き巣  
28件 忍び込み  
9件 居空き (令和4年)

在宅時やごみ捨てなどの短時間の外出でもカギをかけましょう。

二重ロック(補助錠)、防犯フィルム、センサーライトなどを設置しましょう。

長期間の留守は、隣近所などへの声かけや、新聞を止めるなどの措置をとりましょう。

足場になりそうなものを窓の近くに置かないようにしましょう。

## 子ども・女性を対象とした犯罪 被害防止対策

ゆうかい・声かけに気をつけてください



子どもに、外では1人で遊ばないように教えましょう。



子どもが外出する時には、必ず「誰と」「どこで」「何をするか」「何時ごろ帰ってくるか」ということを聞き、子どもにも伝える習慣を身につけさせましょう。



子どもには、知らない人についていけないことや、連れて行かれそうになったら大声を出し、すぐに逃げるように教えましょう。



危険な目にあっても、しかられることを恐れて黙っている子どももいます。普段から子どもとのコミュニケーションを大切にしましょう。

チカン等の被害に気をつけてください

イヤホンで音楽を聴きながらスマートフォンをしながらの歩行は、迫ってくる危険に気づきにくいのでやめましょう。



暗い夜道や人通りの少ない道の通行は避けましょう。



電車では、混み合う車両を避け、比較的空いている車両に乗りましょう。